

盛岡とオンラインで 29日に難病セミナー

筋肉が徐々に衰える難病の一種「筋強直性ジストロフィー」について学ぶセミナーが29日、盛岡市の会場（マリオス）とオンライン形式で開かれる。主催者のNPO法人筋強直性ジストロフィー患者会（東京都）が20日まで、本県からも参加者を募集している。

同法人によると、この難病は握った手が開きにくくなったり、転びやすくなるといった症状が現れ、白内障や不整脈など多臓器の障害が起きやすくなる。根本的な

治療法は確立されていないが、多臓器の障害は早期発見による適切な治療が有効となる。ただ、専門医が少なく、受診で遠方まで出向く患者もいるという。

セミナーでは専門医らが講師を務め、療養に関する基本的な知識や開発が進む治療薬、社会サービスなどについて紹介する。時間は午後1時半～同4時半。

この後、会場で東北地方在住者向けの個別相談会や交流会も予定している。

参加無料。定員はオンライン450人、会場72人。申し込みは患者会のホームページで受け付けている。